

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公開番号】特開 2017-118146 (P2017-118146A)

【公開日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報 2017-024

【出願番号】特願 2017-51113 (P2017-51113)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

B 0 8 B 1/04 (2006.01)

B 2 4 B 21/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/304 6 4 4 G

H 0 1 L 21/304 6 4 4 C

B 0 8 B 1/04

H 0 1 L 21/304 6 2 1 B

H 0 1 L 21/304 6 2 2 F

B 2 4 B 21/06

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 12 日 (2017.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

図 1 0 は、スクラバー 5 0 に備えられたテープカートリッジ 6 0 を示す断面図である。図 1 0 に示すように、テープカートリッジ 6 0 は、洗浄テープ 6 1 と、この洗浄テープ 6 1 をウェハ W に対して押し付ける押圧部材 6 2 と、この押圧部材 6 2 をウェハに向かって付勢する付勢機構 6 3 と、洗浄テープ 6 1 を繰り出すテープ繰り出しリール 6 4 と、処理に使用された洗浄テープ 6 1 を巻き取るテープ巻き取りリール 6 5 とを備えている。洗浄テープ 6 1 は、テープ繰り出しリール 6 4 から、押圧部材 6 2 を経由して、テープ巻き取りリール 6 5 に送られる。複数の押圧部材 6 2 は、スクラバー 5 0 の半径方向に沿って延びており、かつスクラバー 5 0 の周方向において等間隔に配置されている。したがって、各洗浄テープ 6 1 のウェハ接触面（基板接触面）は、スクラバー 5 0 の半径方向に延びている。図 1 0 に示す例では、付勢機構 6 3 としてばねが使用されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 2】

図 2 9 は、第 2 の磁石 4 4 と第 3 の磁石 4 5 の配置を説明するための模式図であり、チャック 1 1 の軸方向から見た図である。図 2 9 に示すように、第 2 の磁石 4 4 と第 3 の磁石 4 5 とは、チャック 1 1 の周方向においてずれて配置されている。すなわち、第 2 の磁石 4 4 とチャック 1 1 の中心を結ぶ線と、第 3 の磁石 4 5 とチャック 1 1 の中心を結ぶ線とは、チャック 1 1 の軸方向から見たときに所定の角度 で交わっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 3 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 3 4】

